Underwriters Laboratories

FUStart –
フォローアップサービス（工場検査）への備え

November 18, 2011

Copyright© 2012 UL LLC ® All rights reserved. May not be copied or distributed without permission

目次

Section 1: FUStartについて …….. p/4

Section 2: ULについて …….. p/6

Section 3: フォローアップサービスについて …… p/10

Section 4: フォローアップサービスのツール …… p/24

Section 5: フォローアップサービスの主要ポイント …… p/32

Section 6: ULの認証マーク …….. p/40

Section 7: サポート …….. p/46

Appendix: 用語集 …….. p/52

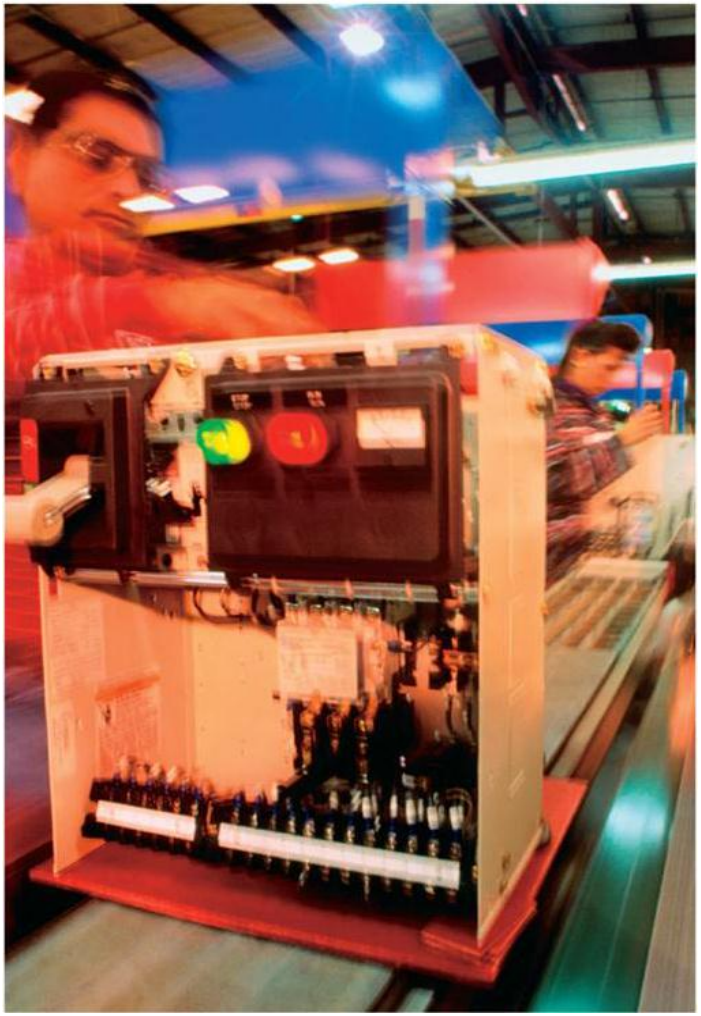
お急ぎの場合

本日、このプレゼンで FUStart を受ける時間がない方は、下記のリンクにULのフォローアップサービス（工場検査）プログラムの主要ポイントが記されていますので、精読していただくようお願いします:

- UL認証マークの入手
- IPI（初回ロット検査）について
- 検査に関連する文書
  - ULマークの検査に関する要求事項
  - ULトレーサビリティの要求事項
  - ULのバリエーション・ノーティスと是正処置に関する要求事項
  - ULの校正要求事項
- フィールドサービス部へのお問い合わせ
- カスタマーサービスへのお問い合わせ

ULのフォローアップサービスについて社内で理解を深めていただくために、このプレゼンテーション資料を閲覧していただくようお願いします。

Section 1: FUStartについて



FUStartでは、UL 認証製品の製造者がULフォローアップサービス（工場検査）に備えていただくために、次の事柄を説明します:

- ULのフォローアップサービス・プログラムの基礎知識
- 初めて工場検査を受ける際の準備事項
- フォローアップサービスにおける製造者の役割と責任

FUStartについて

FUStartはULのリステッド、クラシファイド、レコグナイズド、アンリステッド製品の生産に関連するお客様に対して情報を提供します。

FUStartは重要なトピックについて紹介していますが、詳細な情報はお客様の担当である検査員から入手することができます。

メリット

•ULの方針やフォローアップサービス・プログラムの要求事項を知ることで製造や書類に関して必要な計画を立てることができます。

•トレーサビリティ、マーキング、試験などの要求事項を知り、それらを工場の製造プロセスと品質マネジメントシステムに取り入れることができます。これらの要求事項を知り、対応することで検査工程のスピードアップを図り、適合製品の製造能力に自信を持つことができます。

•その結果、ULマークを使用するまでに不必要な遅延が発生するのを避けることができます。

このプレゼンで分かること

•認証におけるフォローアップサービスの役割と位置づけ

•フォローアップサービスで行われること

Section 2: ULについて

- ULについて
- ULの認証プロセス

ULについて

- Underwriters Laboratories®（UL)は、1894年より公共安全に貢献してきた非営利の第三者製品安全試験認証機関です。
- 世界中で毎年、210億以上の製品にULマークが貼付されています。
- 創立以来、米国の製品安全認証におけるリーダーとして、自他共に認める名声を得ています。
- ULは製造者、規制機関、販売業者、消費者へ使用する製品に対する安全・安心を提供します。

詳細はULについてを参照してください

UL の認証プロセス

製品提出

- 評価を受けるために申請者が製品をULに送付します。

製品評価

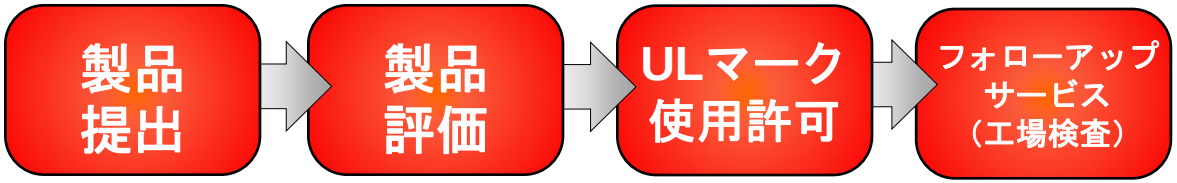
- ULのエンジニアが、製品の試験・検査を行い、製品が要求事項に適合しているか判定します。

ULマーク使用許可

- 適合していると判定されると、申請者に登録された製造工場におけるULマークの使用を許可します。

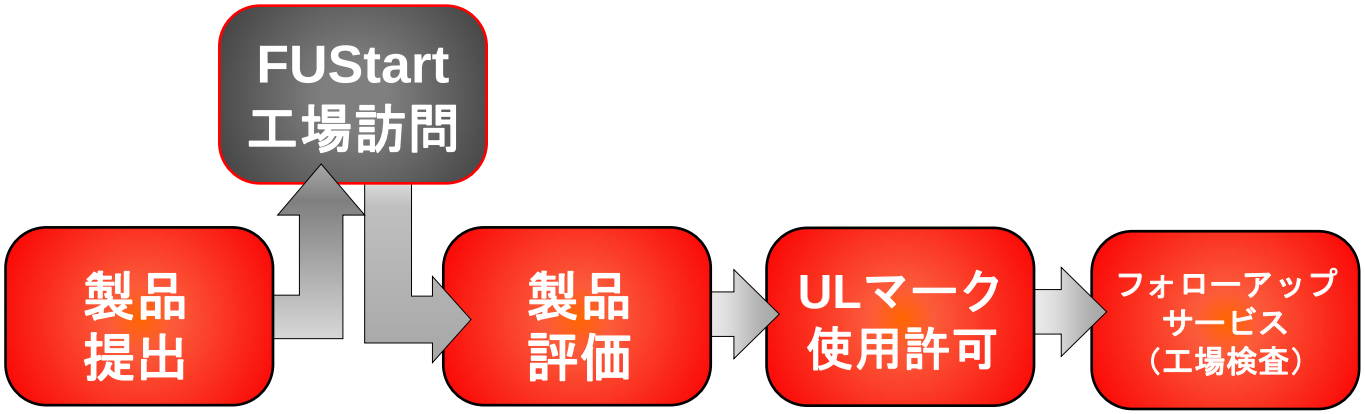
フォローアップサービス

- UL認証が維持されている限り、その製品の製造工場を定期的に検査し、製品が引き続き要求事項に適合しているか確認します。



UL の認証プロセス

検査員による訪問タイプのFUStartも提供出来ます。こちらのFUStart資料をご確認頂き、訪問タイプのFUStart受講の検討を製品提出と製品評価の間に行うことを推奨します。



Section 3: フォローアップサービスについて

- フォローアップサービスの概要
- ULの契約書
- フォローアップサービスのタイプ
- フォローアップサービスの頻度
- UL検査員の責任
- UL認証製品の製造者の責任

フォローアップサービスの概要

- 製造者がULの要求事項に適合した認証製品を製造していることを検証するために必要な制度です。

- UL認証製品を製造している工場で検査を実施します。

- フォローアップサービスはUL認証製品・システムに対して適切な頻度で、UL検査員が実施します。
  - 通常の検査は予告無く行われます。
  - 工場訪問の際、 UL検査員はUL認証製品の製造および在庫を確認しますが、事前予告無しで訪問するためUL認証製品が工場内にないこともあります。そのような場合には生産前確認訪問（Production Ready Visit）を実施します。

- 工場や一般市場などからサンプルを調達し、適合性を判定する場合もあります。

ULの契約書

マークの完全性－ULマークの検査に関する要求事項

- UL(Underwriters Laboratories®)はアメリカとカナダの製品認証サービス(UL/C-UL /ULCマーク認証)に伴うフォローアップサービスに関与する製造者とULの検査員に対する責任、義務、要求事項を定義しています。

グローバルサービス契約書

- ULがお客様からリクエストを受け、提供する特定のサービス用語と条件を規定しています。以下の内容を含みますが、これらに限定されているわけではありません。
  - UL認証マーク使用の管理
  - フォローアップサービス
  - 予告無しの訪問
  - 機密保持
  - サンプル抜き取り

より詳細の情報については United States and Canadian testing and certification of products かUL contracts、UL Mark Surveillance Requirements を参照してください。

ULフォローアップサービスの種類

タイプL

- 主に、人命の安全に関わる製品、および製造プロセスが変動しやすい製品が対象になります。
- 使用されるラベルの数量に応じた回数で、事前予告無しの工場訪問を行います。
- 基本的に、ULラベルはULかオーソライズド・ラベル・サプライヤーから購入します。
- ラベルサービスとも呼ばれています。

より詳細の情報については<u>オーソライズド・ラベル・サプライヤー</u>を参照してください。

ULフォローアップサービスの種類

タイプR

- 主に電気機器、部品、その他の製品が対象になります。
- 通常は事前予告無しの工場訪問を、少なくとも年に4回実施します。
- 製造者は、ULに承認された図版（版下）を用いて、自社でULマーク・ULマーキングを作成するか、オーソライズド・ラベル・サプライヤーを利用して外部印刷することが可能です。
- ULマーク・ULマーキングはカテゴリーに応じて様々な方法で表示されます。例えば粘着ラベル、モールド、刻印、エッチング、シルクスクリーン等で表示されます。

ULフォローアップサービスの種類

初回ロット検査（IPI）

- UL認証製品の初回生産時に合わせて実施します。
- 新規の工場、または既存の工場で新しい製品カテゴリーが追加された時に実施します。
  - 初回ロット検査は特定の条件下では免除されることもあります。

- UL認証製品の製造者が、フォローアップサービス・プロシージャ（以下、プロシージャ）の要求事項に合致した製品を製造していることを検証します。

- 通常のフォローアップサービスとよく似ていますが、顧客とスケジュール調整した上で実施する点が異なります。
- 製品がプロシージャに記載されている要求事項に適合していることを検証できると、UL検査員は対象製品およびその後同一条件の下に製造される製品にULマークを表示することを許可します。

ULフォローアップサービスの種類

重要事項

- 初回ロット検査が終了し、工場の製品がプロシージャと関連する文書に適合しているとULが判断するまで、製品にULマークを表示して出荷することはできません。

- 初回ロット検査が要求される場合で、生産の予定が登録完了から約2ヶ月間無い場合にはULの検査員は予告なしに通常検査を実施するため工場を訪問します。この訪問はUL認証マークの管理を検証するために要求されます。この通常検査が実施された後も、初回出荷の際には必ず検査員の立会が必要になります。

- 初回ロット検査に続いて、通常のフォローアップサービスが実施されます。
- ULマークが製品に使用されていない場合には、ULの検査員は生産前確認訪問を実施します。

ULフォローアップサービスの種類

生産前確認訪問 – ULマークを表示した、あるいは表示する予定の、完全な検査を行える製品が無い場合に行われます。

生産前確認訪問においてULは:

- ULマークを表示した製品がいつ最後に生産されたのか確認／検証します。
- 将来の生産予定をレビューします。これは注文、スケジュール、生産記録、生産予測等を含みます。
- 適用される場合には未解決のバリエーション・ノーティスをフォローします。

お客様のご要望に応じてULは生産の準備ができていることを確認します。

例:

- プロシージャ
- 試験を実施する能力
- 試験機器
- 部品と部分組立品のトレーサビリティ
- ULマークの管理

ULフォローアップサービスの種類

スプリット検査

- 複数の製造工場において段階毎に製造される部品、材料、あるいは完成品に対する検査の適合性を、各工場で分割して検証する検査です。

  - 例：プリント基板の製造を1拠点に集約させ、なおかつ複数の製造拠点を有している機器製造者の場合、プリント基板の完成品の検査は、それらが製造されている工場でのみUL検査員による検査が行われることになる。

ULフォローアップサービスの頻度

検査を行う頻度は、その製品カテゴリー、（ある製品群においては）生産量、および製造者が要求事項に合致した製品を継続的に生産できるかどうかで異なります。

UL検査員の責任

UL検査員には全項目の検査を実施し、ULの要求事項への適合性を確認する責任があります。検査終了後、検査した製品名と結果を記入した検査レポートを発行します。必要な場合には、検査の際に発覚した不適合を記録して連絡するためにバリエーション・ノーティスを発行します。

より詳細の情報については検査レポートを参照してください。

より詳細の情報についてはバリエーション・ノーティスを参照してください。

UL検査員の責任

ULの検査員の確認事項:

- 検査時に製品のプロシージャへの適合性を確認する。
- 検査の際にチェックした製品のタイプを記録する。
- 製造者のUL認証マークの管理を検証する。
- 製造者の工場試験プログラムへの適合性を検証する。
- 不適合を文書化する。
- 不適合を取り扱うために是正処置が必要な場合には製造者と協力する。
- プロシージャに記述されている場合はサンプルを抜き取り、送付に関する注意事項を製造者に説明します。

UL認証製品の製造者の責任

製造者はUL認証マークを正しく管理しなければなりません

- 全てのUL要求事項を完全に満たした製品のみにULマークを表示することを徹底する。
- プロシージャに要求される部品と材料のトレーサビリティを維持する。
- 許可されていない製品やULの要求事項に完全に適合していない製品にUL認証を示唆するような記述をしていないことを確認する。

対象：

- 宣伝・広報物
- 電子媒体　例：ウェブサイト、eメールなど
- 販促グッズやトレードショー用製品

- UL検査員に対して即座に立入を許可する。
- 不適合に対して是正処置を開始する。
- 現行の検査文書をハードコピー又はMyHome@ULによって維持する。
- ULにより許可された場所でのみUL認証マークを使用する。

ULマークの検査に関する要求事項についての追加の情報はこちら

UL認証製品の製造者の責任

製造者がUL認証製品に対して行うほとんどの要求される試験について、以下の情報を確認するために、試験記録は規定された期間保管されなければなりません:

- 試験機器、計測機器の校正
- 試験方法
- 試験頻度と試験日
- 試験不適合に対する製品の処置と是正処置

Section 4: フォローアップサービスのツール

- プロシージャ
- 検査レポート
- バリエーション・ノーティス
- サンプルタグ
- MyHome@UL

フォローアップサービスのツール

プロシージャの概要

- UL規格に基づいて評価された、製品の構造を記述した書類です。
  - プロシージャに記されている要求事項を満たした製品は、規定のULマークを表示する資格があり、ULの認証製品であることを示す方法はULマーク以外ありません。

- ULの要求事項への継続的適合性の評価にあたって、製造者とUL検査員に対しての要求事項が記載されています。
- 最初のフォローアップサービスまたは初回ロット検査が実施される前に製造者に送付されます。
- 申請者と製造者は、プロシージャの目的とその要求事項および内容の正確性を確認しなければなりません。
- プロシージャとその後の改定については、申請者により誤記が無いことを確認されなければなりません。

- **質問がある場合には？**プロシージャの発行者又はお客様の工場に対して責任のあるフィールドサービス部に連絡してください。

フォローアップサービスのツール

プロシージャの重要事項

- **オーソリゼーション・ページ**: ULの要求事項に適合した製品に対してULマークを表示することをULによって許可された工場を特定しています。
- **リスティング・マーク・データ・ページ**: UL認証マークの要素を特定しています (レコグナイズド・コンポーネント、クラシファイドに対しても同様のページが含まれています)
- **アペンディックス・ページ**: UL認証製品のための責任と試験を含む、製造者とUL検査員への指示を記載しています。またULの試験所で実施されるフォローアップ試験についても記載しています。
- **セクション・ジェネラル・ページ**: 複数の製品に関連する指示、構造の詳細、マーキングの情報を記載しています。
- **フォローアップ・インスペクション・インストラクション**: フォローアップサービス・プログラムに適用される特定の指示と責任を記載しています。これらの指示は特定の製品カテゴリーにおいて全ての製造者に対して同じ内容となっています。
- **セクション・ページ**: 通常は順番に番号が付けられ、ULに評価された製品について記載されています。

フォローアップサービスのツール

プロシージャに関する推奨事項

- プロシージャが届いたらすぐに、その内容と新規発行または改訂ページを注意深く確認してください。
  - 確認を怠ると、製品へのULマーク使用許可が遅れてしまう場合があります。

- プロシージャは、常に良好な状態で保管し、すぐ取り出せるようにし、改訂もしくは追加ページがあれば差し替えてください。
  - プロシージャの維持管理は製造者の責任です。
  - プロシージャを最新版に維持することにより、追加の費用や検査時間の増加の原因となる不適合を避けることができます。

プロシージャに関する追加の情報はこちらでご確認いただけます。

常に最新のプロシージャやその他の文書を入手するために、MyHome @ULにて無料のアカウントを作成してください。

フォローアップサービスのツール

検査レポート

- 検査レポートは、UL検査員が工場で行った検査を記録するために使用されます。
- 検査レポートの記載事項:
  - 今回の検査に関する基礎情報、 例：UL検査員の名前、製造者の名前/工場住所、工場の代表者など
  - 検査の種類、例：通常の定期検査、初回ロット検査、特別検査
  - 検査した製品の名称・品番
  - ULの試験所で試験が要求されている製品があれば、その送付サンプルに関する情報

- 製造者は検査の都度、検査レポートのコピーを受領します。

フォローアップサービスのツール

バリエーション・ノーティス

- バリエーション・ノーティスは製品検査の際に、要求事項への不適合を記録するためのUL検査員によって使用される文書です。製品検査では生産プロセスに対して以下の見地から検証することも含んでいます:
  - 試験機器の校正
  - 製造者の試験
  - 文書管理
  - 部品と材料
  - 製品構造
  - マーキング、取扱説明書
  - トレーサビリティ
- バリエーション・ノーティスはULマークの誤用があった場合にもその状況を記録するために発行されます。

フォローアップサービスのツール

バリエーション・ノーティス

- バリエーション・ノーティスが発行された際には、製造者はULマークを表示した不適合製品の取り扱いについて以下の3つの選択肢があります:
  - プロシージャに適合する様に製品を修正する。
  - ULを参照する表示を製品から取り除き、マーキングが印刷、ダイスタンプ、成形などで表示されている場合には消し去る。
  - ULから変更した構造について暫定的な許可を得るためのリクエストをする。検査員からの情報に基づいてULは内容をレビューし、出荷を一時的に継続できるか、出荷を保留しなければならないかを決定します。決定によらず、改定された構造に対するULマークの長期的な使用の許可は、申請者がカスタマーサービスに連絡してプロシージャの改定を行うことで得られます。

詳細はULのバリエーション・ノーティスと是正処置に関する要求事項を参照してください。

フォローアップサービスのツール

サンプルタグ

- ULの試験所にサンプルを送って試験を実施する場合、UL検査員はサンプルタグを作成し、各サンプルにしっかり取り付けます。
- 製造者には、選択されたサンプルを指示されたUL試験所に迅速に送付する責任があります。
  - UL検査員は送付に必要な事項を説明します。
- サンプルの試験結果は、ULの要求事項への継続的適合性の判定に使用されます。

MyHome @UL

- MyHome @ULはお客様のコンプライアンスに対する活動を簡略化出来るオンラインツールとデータベースへのアクセスを提供します。アカウントを作成するとULレポート／CDAへのアクセス、プロジェクトの進捗状況、バリエーション・ノーティス、検査レポート、ULスタッフのディレクトリー、樹脂や電線、プリント基板に関する技術データベースにアクセスすることが可能になります。

Section 5: フォローアップサービスの主要ポイント

- 構造に関する要求事項
- 部品と材料のトレーサビリティ
- 製造ライン試験
- 試験機器・計測機器の校正
- 電気ノックアウト
- 再考請求
- UL認証製品の変更

フォローアップサービスの主要ポイント

構造に関する要求事項

- 製品上にULに関する表示がある場合、製造者は製品が要求事項を満たす構造であることを証明しなければなりません。
- 部品は、要求があれば ULのレコグナイズド・コンポーネント・プログラムまたは他の方法で検証することが可能です。
- プロシージャに記述されている、製品のマーキングや取扱説明書は検証出来なければなりません。

フォローアップサービスの主要ポイント

部品と材料のトレーサビリティ文書

- ULの要求事項への適合性を検証する重要な要素は、UL認証製品に使用されている部品と材料がプロシージャの記載と合致していることです。
- 全ての部品と材料がプロシージャの記載と合致しており、全ての要求される記録を検査員が容易に確認できる様に保管することは製造者の責務です。
- フォローアップサービスの訪問においてUL検査員は、製造者が以下の手法のいずれかによってトレーサビリティを維持していることを確認します: レコグナイズド・コンポーネント、ファブリケーティッドパーツプログラム、プロセストワイヤプログラム、ワイヤリングハーネスプログラム、プリント基板アッセンブリー、ハイテク機器のサブアッセンブリー、リパッケージドプロダクトプログラム、ドキュメントオーディット

詳細はトレーサビリティの要求事項を参照してください。

フォローアップサービスの主要ポイント

製造ライン試験

- 多くの製品は、製造ライン試験を定期的または100%行い、適用される安全要求事項への適合性を判定しなければなりません。
  - この場合製造者は試験を実施して不適合であったという試験結果と、不適合製品の処理に関する記録を保存することが求められています。

- 製品によっては、製造者の製造ライン試験に加えて、ULの試験所やUL検査員の立会いの下での追加試験が必要になります。
  - プロシージャには、サンプルの要求事項、試験方法や判定基準が記されています。
  - UL検査員は、前回の生産検査終了後に生産された製品又はストックの中から無作為に選択し、製造者がそれをULの試験所に送付しなければなりません。

フォローアップサービスの主要ポイント

検査機器、計測機器、試験機器の校正

- プロシージャの中で要求されている、またはUL検査員がフォローアップサービスで使用する製造者の所有機器（検査機器、計測機器、試験機器）は、少なくとも年1回、国家標準にトレース可能な校正をしなければなりません。

- 製造工程で使用されるような機器はプロシージャで特に記述されていない限り、一般的にこの要求事項は適応されません。

詳細は校正の要求事項を参照してください。

フォローアップサービスの主要ポイント

電気ノックアウト

- 多くの電気製品は、電線管付属品を取り付けるノックアウトが備えられています。これらのノックアウトは米国電気工事規定（NEC）を満たす最小限の要求事項に適合していなければなりません。
- UL検査員は、UL認証を受けた製品に含まれるノックアウトを全て検査する必要があります。但し、既にUL認証を受けている購入製品や機器に含まれている場合は除きます。

詳細は電気ノックアウトを参照してください。

再考請求

製造者がフォローアップサービスに関することでULと意見が一致せず、また納得できる解決に至らない場合、製造者は既得権を侵すことなく、解決を目指してULの上層部に自らの見解を述べることができます。

フォローアップサービスに関する判定に再考を請求したい場合は、ULのカスタマーサービスに連絡してください。

UL認証製品の変更

UL認証製品に構造変更が必要な場合は、カスタマーサービスに連絡して、プロシージャの変更を依頼してください。

主要手順

- ULマーク表示製品に変更を加える前に、ULの許可を得るために変更申請をしてください。

- ULは、変更事項を評価し適合していれば変更許可を発行し、プロシージャを改訂します。

- 改訂ページは製造者に送られ、あるいはMyHome@ULで利用可能となります。これらの改定ページはULマークの完全性を維持するためのプロシージャの一部として使用されます。

Section 6: ULの認証マーク

- ULの認証マーク
- タイプLとタイプRのULマークの構成とデザイン
- ULマークの入手
- ULマークの不当使用

ULの認証マーク

認証マークの種類

- **リスティング・マーク** – ULの要求事項に適合しており、ULのリスティング及びフォローアップサービス（工場検査）プログラムの下で製造された製品

- **クラシフィケーション・マーク** – ある特定の属性に対して性能が評価され、ULの要求事項に適合した製品に付けられるマーク

- **レコグナイズド・コンポーネント・マーク** – ULのリステッドまたはクラシファイド製品に使用される部品や半完成品

UL認証マークの完全なリストについてはULマーク－外観と意味を参照してください。

タイプLとタイプRのULマークの構成とデザイン

製品に表示されるULマークの４つの構成要素:

- ULシンボルマーク
- その製品が受けたサービスによって、“LISTED”又は“CLASSIFIED”という文字（大文字）
  - クラシフィケーションの表示には、ULが評価に使用した規格または評価した内容も必要
- 製品の識別または製品名（ULシンボル・マークのすぐそばに記載）
- トラッキングナンバー
  - タイプLの場合にはULラベルセンターから交付された発行ナンバー(Issue No.)または連番(Serial No.)
  - タイプＲ： デザインが承認されてからUL登録ラベル印刷業者に発注する際に必要となる、 ULから指定された4桁のアルファベットと数字から成るナンバー

タイプLとタイプRのULマークの構成とデザイン

重要事項

- お客様自身でULマークを作成するのではなく、ULのウェブサイトに掲載されているULマークのデザインをダウンロードしてご使用ください。

詳細はULマークのダウンロード・サイト を参照してください。

- ULマークの構成要素を含むラベルに、追加情報が要求される場合があります。

詳細はマーキングの要求事項 を参照してください。

ULマークの入手

ULラベルの注文

- タイプLのマーク: ULラベルセンター にて承ります。
- タイプRのマーク: ULよりデザインの承認を得た後、オーソライズド・ラベル・サプライヤーへご注文願います。

ULマーク入手時の検討事項

- 各要素とその構成
- 貼付する場所と方法
- ラベルの材料は露出される状況に対して適切な定格を持ったものであるか ？（温度、被着体、環境）
- ULマーク（紙ラベル、ホログラムラベル）の注文は当面必要とされる数量に制限してください。3年後にはULマークは新しい在庫に切り替えられなければなりません。

重要事項

- 製品にどのULマークを表示したらいいのか、レコグナイズド・コンポーネントの製品にはどのようなULマーキングを表示したらいいのか、などの疑問がございましたら、ULのカスタマーサービスまたはラベルセンターまでお問い合わせください。

ULマークに関する詳細は、ULのウェブサイトを参照してください。

ULマークの不当使用

ULマークの使用は、ULの認証要求事項に適合している製品にのみ与えられる特権です。ULの要求事項に適合しない場合、ULはフォローアップサービスの回数を増やし、UL認証マークをUL検査員の管理下に移すことがあります。

- ULマークの使用について適切な管理がされていることを、ULが検証できれば通常の検査スケジュールに戻ります。

- 追加管理のチェックや実施にかかる追加検査料金や事務処理費用は、特別に製造者に請求する様に取り決めていない限りは申請者の負担となります。

- ULマークの不当使用が継続するような場合には、UL認証の取り消しに至るまでの厳しい処置が課せられることもあります。

Section 7: サポート

- ULとのコンタクト／ULが提供するトレーニング・サポート
- 付録－専門用語集

サポート

ULのフィールドサービス部では、初めてのフォローアップサービスの準備のために、お客様の状況に応じた出張サポートやトレーニングを提供します。

- フォローアップサービスの事前準備ができる。
- 適合化に向けてより効率的な生産計画を立てることができる。
- ULマーク使用に際して、不必要な遅延を防ぐことができる。
- 追加検査を回避することができる。

料金の見積もりや訪問日程については、フィールドサービス部までご連絡ください。

について、業種とサービス、UL規格、ULマーク表示のための製品の申請については www.ul.comのよくある質問をご利用ください。

その他のサポート

ULのカスタマーサービス

- ULのカスタマーサービスが、質問への回答や情報提供を行うと共に、評価・認証中も全面的にサポートします。

- 認証手順についての説明や担当エンジニアの通知、他のサービスの紹介など、お客様の様々なご要望に対応します。

カスタマーサービスへのお問合せは、ULのウェブサイトからお願いします。

その他のサポート

UL University

- UL Universityは知識とトレーニングを最も良く伝えるために、個人あるいは会社毎にその能力、学習スタイル、要望が大きく異なることを認識して います。そのためUL Universityはトレーニングプログラムを、参加者にとって利用可能な様々な方法で提供します。
- UL UniversityはUL認証に適合した製品を製造するために、理解を深めるためのカスタマイズされたセミナーをお客様に提供します。UL Universityはまた、様々な場所において多様なセミナーを提供します。詳細な仕様は担当している検査員から入手可能です。

詳細についてはUL Universityを参照してください。

その他のサポート

ULの認証マークは登録工場の製造ラインで製品に貼付されますが、既に出荷されている製品に認証マークが必要になることもあります。このような場合に、ULは次の二つの特別な出張サービスを提供しています:

- **フィールド・エバリューションサービス -** 現地の規制機関からの承認を受けるべく設置された製品の安全に関する適合性を評価します。一般的には、非認証品かあるいは認証品を改造した製品が対象となります。

- **フィールド・インスペクションサービス -** 最近設置されたUL認証製品に適切なULラベルが紛失しているようなケースが対象となります。コストのかかる製品の撤去や取替えの必要がないため、時間と費用の節約になります。

詳細は、フィールド・エバリュエーションとフィールド・インスペクションを参照してください。

その他のサポート

Online Certifications Directory(オンライン製品認証ディレクトリ）

全UL認証製品の情報を検索できるUL製品目録のオンライン版

ULマークのダウンロード・サイト

色々なファイル形式のULマークを掲載

UL Label Centers

ULラベルに関する質問に対応

ULの試験レポートとプロシージャへのオンライン・アクセス –

http://my.home.ul.com

セキュリティが確保された形で閲覧が可能

付録

専門用語集

製品認証において使用される多くの用語の定義を含んでいます。